

# ロマンは実を結ぶ

## 金沢地方本部 七尾地区支部

No.359

私たち七尾地区支部は鉄道部スタッフ、駅、工務科、運転科からなる七尾鉄道部分会の1支部1分会の総勢約120名の組織で、地域の足として日々七尾線を支えています。

2024年1月1日に発生した能登半島地震では、建造物、設備、線路等多大な被害を受けましたが、中央本部から上村委員長をはじめとする役員の方々が激励に来ていただき、また、JR連合や各地本、グループ労組から、沢山の支援物資や応援に駆け付けていただいた仲間のおかげで、驚くほど早い復旧が実現し、改めてJR西労組の仲間の繋がりを実感しました。

その後、同年9月には豪雨災害も発生し、幸い人的被害はなかったものの、昨年は自然災害に泣かされた年となりました。

その様な暗い雰囲気でしたが、七尾地区支部としては約5年ぶりとなる旗開きを開催して、多数の



災害に負けない元気な能登をアピールし駆け上がった

北陸新幹線敦賀開業による大きな会社組織の変化に伴い、組合員から将来に向けての働き方の声が機関会

### 地震を乗り越え、JR西労組の仲間の繋がりを実感 組合員の不安解消を図る活動を展開

中国JRバス地方本部は、JRバス中国(株)に対して、3月3日に春闘要求書を提出して以降、「人財の確保」と「人財への投資」の必要性を強く訴え、交渉を重ねてきた。

そして、3月28日に、会社から、25年度以降には、安全性向上のため新規車両の投入や老朽化した設備更新にも着手する中で、収支改善の意

### 西日本JRバス地本 春闘の主な妥結項目と内容

- (社員)
- 定期昇給(勤続給昇給等)の完全実施
  - ベースアップ 5,000円
  - 55歳以降の勤続給昇給の実施
  - 年間臨給 4・7箇月  
(夏季2・5箇月、年末2・2箇月)
- (契約社員)
- キャリア社員等の基本賃金引上げ 5,000円
  - パートナー社員の時給の引上げ 50円
  - 一時金 60万円  
(夏季一時金30万円・年末一時金30万円)
- (生活改善・賃金制度の再検証)
- 助手手当の引上げ 5,000円加算
  - 事務係手当の新設 10,000円
  - 近江今津営業所の運転士手当 30,000円に引上げ
  - 間接部門社員等への職務手当新設  
→課長代理等 40,000円、主任 30,000円、担当 10,000円
- (働き方改革)
- 繁忙期間中(GW、お盆、正月)の特別手当 1,000円/1日

### 西バス地本 中バス地本 春闘妥結!

西日本JRバス地方本部は、西日本ジェイアールバス(株)に対して、2月25日に、春闘要求書を提出して以降、人財への投資は、会社の成長投資と強く訴え、交渉を重ねてきた。

3月24日、会社から「取り巻く環境は厳しいが、社員の待遇改善が働きがいの向上や離職防止、採用競争力の強化等をもたらす、更なる安全性の向上や収益性の向上に繋がるものと考え」とし、「定期昇給完全実施」(ベア5,000円)年間臨給4・7箇月(夏季2・5箇月・年末2・2箇月)などの回答が提示された。

### 西バス地本ベア5,000円 年間臨給4・7箇月で妥結 55歳以降の勤続給昇給を実施へ

### 中バス地本春闘・労働協約妥結 年間臨給5・0箇月満額回答 ベア5,000円 55歳以降の基本給調整率の廃止 定年後の再雇用制度を確立

西バス地本は、満額回答ではないものの、会社の現状を踏まえた誠意ある回答と判断し、妥結した。

### 中国JRバス地本 春闘の主な妥結項目と内容

- (正社員)⇒正社員基本給平均賃上げ10,846円(過去最高)
- 年度初の定期昇給の完全実施
  - ベースアップ:5,000円
  - 初任給:5,000円加算
  - 年間臨給:5・0箇月  
☆満額回答
  - 夏季一時金:50,000円
  - 55歳以降の基本給調整率について、現行96%を基本給調整率の廃止
- (契約社員)
- 契約社員基本給:1,000円加算
  - 年間臨給:5・0箇月  
☆満額回答
  - 夏季一時金:20,000円
- (嘱託社員)
- 時間給:10円加算
  - 夏季・年末奨励金:150,000円
  - 夏季一時金:20,000円
- (パート社員)
- 時間給:10円加算
  - 夏季・年末奨励金:10,000円
  - 夏季一時金:10000円
- (労働協約の妥結内容)
- 定年後の再雇用制度の新設
  - 運転係については、本人が希望し定年退職の翌日から嘱託社員として雇用しているが、新たに契約社員[運転係]とし、雇用契約期間は、65歳に達する日の属する月の末日までを限度とし、その後、更に雇用する場合は嘱託社員として再雇用する。
  - 基本賃金は月額230,000円を上限に定年退職時の基本給を移行。
  - 第2種休日制の年間休日数の見直し
  - 年間休日に、特別休日(リフレッシュ休暇)1日を加え、年間105日とする。
  - フレックスタイムでの選択的週休3日制導入
  - 月間の実績労働時間を8時間減らすことによって、1暦日勤務しないことができる「フレックス(調整日)」を導入し、社員自ら週休3日制度を選択できるようにする。(1週につき1回の取得を上限)
  - 育児休職及び介護休職制度の見直し
  - 育児休職及び介護休職について、昇進に当たっての在級年数に通算し、昇給実施日に休職中においても昇給対象とする。
  - 保存休暇の付与条件見直し
  - 感染予防を目的とする保存休暇の付与条件を「発症ごとに3日以内を限度」へ
  - 災害等により勤務指定されたバスが運休となり、会社が当該休暇の申入れを認めた場合、付与日数は各年度の3日以内限度を追加する。
  - 諸会合等に参加する場合の勤務の取り扱い(勤務免除)の見直し
  - 業務中にカスタマーハラスメントを受けた社員等が正規の労働時間内に労災保険の申請を行う場合
  - 会社の指定する弁護士相談を行う場合
  - 発生した人命に関わる重大事故発生時等に社員等がお客様の救護等を行い、これにより正規の労働時間を欠くことになった場合

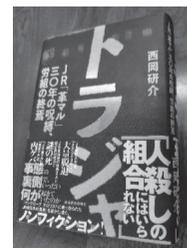
### JR総連・西労の真実 西労・JR総連(極左暴力集団・革マル派)の実態を正しく理解しよう

<JR総連・西労の真実>  
西労・JR総連(極左暴力集団・革マル派)の実態については、2022年2月25日に発信をした「JR西労組 組織ニュースNO.15」(JR西労組HP閲覧可)で記載したとおり、警察の監視対象となっている組織である。

#### ~JR総連加盟の西労と北海道労組の運動とは~

<JR総連・北海道労組の運動>  
JR総連・北海道労組は、JR北海道会社では第一組合であるが、その北海道労組は、「平和共存否定」を實踐し、「結婚問題」も未だにくすぶっており、職場の分断を生む独善的な運動を展開している模様。

「トラジャ ~JR『革マル』30年の呪縛、労組の終焉(2019年発行:東洋経済新報社)では、「結婚問題」などについて過去の事象を詳述している。



- トラジャ 第8章(P.308~)  
『ある組合員の死』(前略)※以下、第8章内の中見出しの一部
- ◆「結婚式」を妨害する方法
  - ◆「異常な組織」の異常な干渉
  - ◆「平和共存否定」路線が招いた事態
  - ◆組合の方針として結婚式に「介入します」
  - ◆組合による「ガサ入れ」と「除名処分」

私たちJR西労組は、民主化闘争を側面から支える支援単組として、JR連合加盟のJR北労組(JR北海道で第二組合)を、今後も積極的に支援していく。

JR西日本ではJR総連・西労が同様の運動をしている組織であることを認識し、甘言に騙されてJR総連・西労に加入するような不幸な組合員を作ってはならない。

#### 革マル派が相当浸透しているJR総連に属するのが西労

### ハナハチ

